

第5学年 国語科学習指導案

指導者

1 単元名

～人間と動物のかかわりについて考えよう 椋鳩十の世界～

学習したことを生かして「大造じいさんとガン」「片耳の大シカ」「月の輪グマ」他

2 指導観

こんな子どもたちだから

- 子どもたちは、読書が好きで、図鑑や冒険物・漫画の歴史物等を好んで読んでいる。4年生までに、教科書教材に関連した本も進んで読んできている。8%の児童が椋鳩十の作品を読んだ経験をもっている。 (意欲・関心)
- 「ドキュメンタリーを読もう」の学習で、人柄が分かるキーワードを探し、根拠をもとに人物像を読み取ることができた。聴き合い活動では、解釈についての質問ができるようになっている。(学び方)
- 登場人物の心情について、生活経験と結びつけて感想をもちながら読むことは、経験してきている。「新しい友達」では、それを聴き合うことで、自分の見方・考え方を振り返っている。(認識)

こんな教材を使って

○単元のねらい

本単元は、『大造じいさんとガン』と椋鳩十の他の作品との重ね読みを通して、動物に対する狩人の心情の変化を叙述にそってとらえ、狩人の考えを変えた動物の生き方について、自分の考えを深めること」をねらいとしている。

○学習指導要領への意義

高学年では、心情や描写を把握しながら読むとともに、自分の考えを深めることが求められる。「大造じいさんとガン」は、場面の転換や物語のクライマックスの場面で、情景描写とつなげて大造じいさんの心情を読み取り、残雪をいまいましく思っていた大造じいさんの考えを大きく変えた残雪の生き方をとらえることができる。さらに、「大造じいさんとガン」を読んだときと同じ視点で、他の作品を読み進めることは、主体的に物語を読む子どもを育てる上で価値高いと考える。

○テーマへの意義

椋鳩十の作品は、動物の生き方の中に人間の姿をかぶせて読み取ることができる。

複数教材の重ね読みを通して、動物や人間の素晴らしい生き方を追究し、作者の伝えたいことをとらえたり、聴き合い活動で生き方に対する自分の考えを深めたりすることは、「読むこと」を通して考える力を身に付け、豊かな学びをつくる子どもを育てる上でも意義深いと考える。

こんな手立てで (方法)

○つかむ段階では

交流活動①で、椋鳩十全集の「はじめに」の文について話し合い、「椋鳩十は、作品の中でどんな『生き方のすばらしさ』を伝えているのだろう。」という学習問題をつくるようにする。

○さぐる段階では

題名と全文を通読した疑問から読みのめあてをつくっていく。読みのめあてに対して自分の考えをつくるために、場面ごとに大造じいさんと残雪の行動や心情が分かる叙述を取り上げて、残雪へのかかわり方や考えの変化・その要因を考えマップにまとめることができるようにする。交流活動②では、それぞれがとらえた変化の要因について、根拠をもとに聴き合い活動をすることで、自分の考えに自信をもつことができるようにする。

○あらわす段階では

「大造じいさんとガン」と他の作品を重ねて読み、人物の考えを変えた動物の生き方の共通点について、フリップをもとに交流活動③で聴き合い活動をする。そこで、椋鳩十の作品に表れる「生き方のすばらしさ」に迫ることができるようにする。また、ポートフォリオを活用して、自分の考えの変容を振り返る場を設定する。

椋鳩十

目指す子どもの姿

- ◎ 椋鳩十作品の情景描写を味わい、人物の行為に感想をもって進んで読もうとしている。(意欲・関心)
- ◎ 情景描写から人物の心情を読み取り、椋鳩十作品にみられる「動物の生き方」の共通点をまとめ、作者が伝えようとしている「生き方のすばらしさ」について、聴き合うことができる。(学び方)
- ◎ 「大造じいさんとガン」と他の作品を重ねて読み、聴き合い活動を通して人物の行為やその要因の共通点をとらえ、椋鳩十作品にみられる「生き方」について自分の考えを深めることができる。(認識)

3 単元カリキュラム

国語科部テーマ
「読むこと」を通して、考える力を育てる国語科学習

前単元

次単元

「千年の釘にいどむ」
人物の生き方について考えよう
「日本初のマイカーでんとう虫 町をゆく」

仲間や家族を助けるために自分の命をかける勇気や深い愛情をもった生き方がすばらしい。それは、人の心を動かすことができる。

<椋鳩十作品の共通点>
・仲間や家族を助けるために自分の命をかける勇気
・仲間や家族を思う深い愛情
・動物を捕らえることをやめた行為

○主な聴き合い活動
学習問題「椋鳩十は、作品の中でどんな『生き方のすばらしさ』を伝えているのだろう。」について、根拠をもとに聴き合い、共通点から、人間の心を変えた「生き方のすばらしさ」についての考えを深めている。

○主なポートフォリオ評価
これまでの学習をポートフォリオを使って振り返り、はじめにもっていた自分の「生き方」に対する考えと椋鳩十の作品にみられる「生き方」とを比べて、変容に気づき、自分の考えを深めている。

命をかけて仲間を助ける勇気・仲間を思う気持ち（愛情）・残雪の頭領らしい堂々とした態度や生き方が、大造じいさんの心を変えた。

大造じいさんとガン
頭領らしい、なかなかりこうなやつ
…一羽のガンも手に入れることが…
いまいまいしく思ってたか？ たかが鳥のことだ
秋の日は美しくかがやいて…あかつきの光がすがすがしく（今年こそはと決起）
残雪が、仲間を指導し（残雪の知恵）
「うらむ。」
思わず感嘆の声をもらしてしまいたい
…たいしたちえをもっているものだ…
…でも残雪のために…
「今日こそ、あの残雪めにひとあわふかせて…東の空が真っ赤に燃えて…」
残雪の行為
救わねばならぬ仲間。敵にぶつかり残りの力をふりしぼって…正面から
（勇気・頭領らしい堂々とした態度）
何と思っただか、再びじゆうを下ろし…強く心を打たれて、ただの鳥に対してのような気がしません…「おうい、ガンの英雄よ…おれたちは、堂々と戦おう…」

○中心人物の人柄をとらえ、共通する生き方を見出し、登場人物の仕事に対する思いに対する自分の考えを深める聴き合い活動

○人物設定や話の展開等の共通点をとらえ、「物の本質を大切にしている生き方」について、自分の考えを深める聴き合い活動。

月の輪グマ

きつぼめがけてとびこむ…
むねのつぶれるように思いました…しめた。やつめ、まだ生きている…本当にうれしそうに…なみだがポロポロこぼれそうに…「うん、うん」うなずき…

金色の川

人間の真ん中に飛びこんで…かりゆうどをにらみすえました…引き金に指をかけました。が、そのかたを、もう一人のかりゆうどはぐいと引きもどし…あんな勇敢なやつを、殺しようなくなつた…

片耳の大シカ

いつもは、たがいに、にらみ合い、かみ合っているものが…同じようなきけんがおそいかかってきた場合には、おたがいに助け合う習性を…「よしなよ、…すなおに、うなずいて、じゆうをかたわらに置いた。」

4 指導計画 (計15時間)

段階	主な学習活動と内容	評価規準と子どもの姿 ◇=評価規準 ・=意識	指導上の留意点と評価方法 ○=留意点 ◆=評価方法	配時
つかむ	<p>1 椋鳩十全集の「はじめに」から、学習問題をつくる。</p> <p>(1) 「かれらの生きかたをえがいて」等のことばから、読み取りたいことや課題をまとめる。</p> <p>(2) 課題を聴き合い、学習の見通しをもつ。</p>	<p>◇「はじめに」の文を読んで、学習の見通しをもっている。</p> <p>・椋さんは動物のことをどうとらえているのかな。友についてのは、どういうことなのだろう。</p>	<p>○動物作家椋鳩十の少年期のことや執筆中の時代背景を知らせ、作品への興味をもたせる。 《支援①⑧》</p> <p>◆活動の様子を観察</p>	1
	<p>学習問題：椋鳩十は、作品の中でどんな「生き方のすばらしさ」を伝えているのだろうか。</p> <p>(1) 題名について話し合い、「と」で結ばれている理由を考える。</p> <p>(2) 題名と全文を通読して生まれた疑問をつないで、読みのめあてをつくる。</p>	<p>◇「はじめに」の文を読んで、学習の見通しをもっている。</p> <p>・どうして大造じいさんは残雪を撃たなかったのだろうか。</p>	<p>交流活動①</p> <p>●全体</p> <p>・相違点をもとに、課題を明らかにするための聴き合い活動</p> <p>つたり全文を一読したりして、読みのめあてをつくることができるようにする。 《支援①⑥》</p> <p>◆発言・ポートフォリオ・学習プリント分析</p>	1
さぐる	<p>まとめる。</p> <p>(1) 全文を読み、文章構成と大まかな内容をとらえる。</p> <p>○ 大造じいさんと残雪のかかわりを場面ごとに読み取る。</p> <p>○ 大造じいさんの残雪に対する考えの変化を読み取る。</p>	<p>◇場面ごとに中心になる叙述を探しながら考えている。</p> <p>・大造じいさんの気持ちの変化が分かってきたよ。</p> <p>・大造じいさんが残雪を撃たなかったことは、残雪の姿と関係がありそうだ。</p>	<p>○大造じいさんの言動が分かる叙述に着目することで、残雪に対する考えの変化を読み取ることができるようにする。 《支援④⑨》</p> <p>◆学習プリント分析</p> <p>○考えマップをフリップにまとめることで、根拠を明確にして自分の考えを整理することができるようにする。 《支援②⑤》</p> <p>◆考えマップ分析</p>	2
	<p>◇自分の考えと比べながら、友達の考えを聴いている。</p> <p>・仲間を救うために自分の命を省みずに行動する勇気に、感動したのだと思う。</p> <p>◇自分の考えと比べながら、友達の考えを聴いている。</p>	<p>◇自分の考えと比べながら、友達の考えを聴いている。</p> <p>・仲間を救うために自分の命を省みずに行動する勇気に、感動したのだと思う。</p> <p>◇自分の考えと比べながら、友達の考えを聴いている。</p>	<p>交流活動②</p> <p>●異質グループ、全体</p> <p>・解釈の違いをもとに残雪の生き方について自分の考えを確かにする聴き合い活動</p> <p>た考えについて、ふり返る場を設定する。 《支援②》</p>	1

あ ら わ す	<p>(3) お互いの考えを交流して、共通点や相違点を明確にし、残雪の生き方に対する自分の考えをつくる。</p>	<p>・同じ文章の根拠でも、残雪のすごさの言い方が違っていた。自分に足りなかったことを加えよう。</p>	<p>○付け加えは、自分の考えと区別できるように青ペンで記入させる。 《支援②》</p>	1
	<p>4 他の作品と重ね読みをし、動物の生き方について、読み深める。</p>	<p>◇「大造じいさんとガン」の学習をふり返り、読みの視点について考えている。</p>	<p>◆ポートフォリオ分析 ○前時までの学習の跡を掲示することで、読みの視点を明確にする。 《支援⑧》</p>	3
	<p>(1) 「片耳の大シカ」「月の輪グマ」「金色の川」から1冊を読む。 【読みの視点】 ○ 登場人物の行為 ○ 考えの変化 ○ 考えを変えさせたものは何か。</p>	<p>・初めと終わりで狩人の考えが変わる叙述を見付けて、その要因を読み取ろう。 ◇人物設定や話の流れの共通点を見付け、自分の考えをフリップに書いている。 ・子どもを守るために危険をおかす深い愛情。</p>	<p>○考えの根拠を書いていくように促す。 《支援②⑥》</p>	3
	<p>【方法】 ○ 人物の心情の変化を読む。 ○ 動物の勇気ある行為や心情を表す情景描写にラインを引いたり書き込んだりする。(付箋紙を使う)</p>	<p>◇根拠となる叙述をもとに自分の考えを発表したり、友達の考えをうなずいて聴いたりしている。 ・棕さんは、動物も、人間に共通するすばらしさをもっていると思っている。 ・棕さんは、愛情や勇気を伝えたかった。</p>	<p>◆考えマップ・フリップ分析</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>交流活動③ ●異質グループ、全体 ・共通点を整理し、作者が伝えたいことについて自分の考えを深め再構成する聴き合い活動</p> </div>	1
	<p>(2) 「大造じいさんとガン」との共通点を見付け、人物の考えの変化と要因をフリップにまとめる。 (3) 考えを交流し、作者が伝えたかったことについて考えをまとめる。</p>	<p>・人間の心を変える動物のすごさが読める。 ◇聴き合い活動の中で取り入れた考えをフリップに付加している。</p>	<p>○板書のキーワードにラインを入れ、共通点をとらえることができるようにする。 《支援⑨》</p>	1
	<p>(3) 考えを交流し、作者が伝えたかったことについて考えをまとめる。</p>	<p>◆学習プリント分析 ○聴き合い活動で再構成した考えについて、自己評価する場を設定する。 《支援②》</p>	<p>◆自己評価カード分析</p>	1
<p>5 棕鳩十のいろいろな作品を読んで、紹介する。 (1) シリーズの作品を読み、紹介する話を決める。 (2) 主題や感動したことを工夫して、紹介カードを書く。 (3) カードをもとに、心に残った作品を紹介し合う。</p>	<p>◇本を決めて読み進め、登場人物の行為・考え方等、感銘したことを付箋紙にメモしている。 ◇相手が読みたくなるように、表現を工夫してカードを書いている。</p>	<p>○棕鳩十のシリーズを準備しておく。 《支援⑦⑧》</p> <p>◆活動の様子の観察</p>	2	
<p>6 単元全体を振り返る。</p>	<p>◇単元のポートフォリオを使って、自分の考えの変容（「生き方のすばらしさ」について自分の見方・考え方）を振り返っている。</p>	<p>○ポートフォリオを使って単元の学習を振り返ることができるようにする。 《支援⑦》</p> <p>◆ポートフォリオ・自己評価カード分析</p>	1	

5 本時

4つの作品を読み比べ、人物の考えを変えた「生き方のすばらしさ」について聴き合い、作者が伝えたいことについて自分の考えを深める時間 (12/15)

6 本時の目標

- 登場人物のかかわりや心情の変化・動物の行為についての描写をとらえ、それぞれの作品の共通点に着目して読むことができるようにする。(学習指導要領から)
- 重ね読みしてつくった、人物の考えを変えた「生き方のすばらしさ」を聴き合う活動を通して、作者が伝えたいことについて、自分の考えを深めることができるようにする。(テーマから)

7 本時の授業仮説

4つの作品を読み比べ、考えの変化と要因の共通点を整理する全体での聴き合い活動を設定し、自分の考えの変容をふり返る場でポートフォリオ評価を行うことで、命をかけて家族や仲間を助ける勇気ある生き方の価値をとらえ、椋鳩十が伝えたいことについて自分の考えを深めることができるであろう。

8 本時指導の考え方

○本時のねらい

本時は、4つの作品の登場人物の考えを変えた「生き方のすばらしさ」について聴き合うことで、椋鳩十が伝えたいことについて自分の考えを深めることをねらいとしている。

前時まで、子どもたちは、「大造じいさんとガン」と他の作品を読み比べて、共通点を見付け、椋鳩十が伝えたい「生き方のすばらしさ」について考えをつくっている。人物の考えの変化や要因が分かる箇所にサイドラインを引いたり、付箋紙に読み取りをメモしたりして根拠を明確にし、自分の考えをフリップにまとめている。フリップには、それぞれの作品について考えの変化の要因をどうとらえているか、その根拠となる叙述や共通点を書き、自分の考えの根拠をより明確にしている。

○交流活動の工夫について

本時では、異なる作品を重ね読みしてつくった考えを聴き合う、全体での聴き合い活動を設定している。この聴き合い活動の中で、とらえた人物の考えの変化や要因の共通点を整理することで、お互いの考えのよさを認め合い、それを自分に取り入れ、より考えが深まると考える。

3人の代表児童が狩人の考えを変えた「生き方のすばらしさ」のとらえ方を叙述を根拠に提案し、その共通点を話し合った後、狩人の心情に立ち返ることで、作者が伝えたいことについて各自の考えをより深めることができるようにする。聴き合い活動での質問をあらかじめ把握しておき、代表児童が自信をもって考えを発表することができるように、事前に相談活動を行う。

○評価活動の工夫について

交流活動で、自分が気付いていなかった登場人物の考えの変化や要因のとらえ方について、納得して取り入れたいと思ったものは、フリップに加えていく。本時学習のまとめの際には、自己評価の場を設定し、「大造じいさんとガン」の読み取り時に書いた考えマップと本時に活用したフリップを比べて作者が伝えたいことに対する自分の考えを振り返る場を設定する。そこで、2つの作品を重ね読みしたことや聴き合い活動をしたことで、作者が伝えたいことについての考えが深まったことや友達の考えのよさに気付くことができるようにする。

・規準に満たない子への支援

本時学習に入る前に、自分の考えをフリップにまとめることができるように、根拠を相談しながら一緒につくっておく。また、聴き合い活動で、自分の考えと比べながら積極的に参加できるように、事前に代表児童のフリップと比べ、聴き取ることを確認し付箋紙に書くように助言する。

9 準備

学習の流れ図、フリップ、授業用資料、ポートフォリオ、自己評価カード

10 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援	評価基準		資料
<p>1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 前時まで、2つの作品を読み比べてとらえてきたことを確認する。</p> <p>(2) 狩人の考えが変わり銃を下ろしたことを確認し、本時学習のめあてを話し合う。</p>	<p>○学習の流れ図やポートフォリオで、人物の考えの変化と要因についてフリップをつくったことを確認する。</p>	<p>基準A</p> <p>・ポートフォリオを見て今までの学習を確認し、めあてと自分の考えをつなげている。</p>	<p>基準B</p>	<p>学習の流れ図</p> <p>フリップ</p>
<p>学習問題： 椋鳩十は、作品の中でどんな「生き方のすばらしさ」を伝えているのだろう。</p>				
<p>本時のめあて： 人物の考えを変えた「生き方のすばらしさ」について聴き合い、作者が伝えたいことを深めよう。</p>				
<p>2 全体での聴き合い活動をする。</p> <p>(1) 代表児童の提案を聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どの叙述を根拠に考えたのか。 ○ 叙述をどうつなげたから、考えが生まれたのか。 ○ 作品を比べることで、どんな考え（「生き方のすばらしさ」）が分かったのか。 <p>(2) 4つの作品の共通点を話し合う。</p> <p>(3) 代表児童の考えのよさを取り入れ、自分なりの考えをつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><共通点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間や家族を思う気持ち ・仲間や家族に対する深い愛情 ・命をかけて助ける勇氣 </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><作者が伝えたいこと></p> <p>深い愛情をそそいだり、命をかけて仲間や家族を助ける勇氣ある生き方は、すばらしい。その生き方が人間を感動させ、心を動かす。</p> </div>	<p>○考えのつながりが分かるように板書の構成を工夫し、4つの作品の共通点をとらえることができるようにする。</p> <p>○全集「はじめに」の文や狩人の心情の変化をおさえながら、椋鳩十の伝えたかったことについて話し合うことで、作品の心にせまるようにする。</p> <p>○「大造じいさんとガン」を読み取った際の考えマップと比べて、考えの変容をまとめるようにする。</p>	<p>・とらえた共通点や根拠を発表したり、友達の考えを分かろうと進んで聴き、質問や確かめをしようとしていたりしている。</p>	<p>・とらえた共通点や根拠を自分の考えと比べて聴いている。</p>	<p>授業用資料</p> <p>フリップ</p>
<p>3 本時学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポートフォリオを使って振り返り、自己評価カードを書く。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><本時で目指す子どもの姿></p> <p>初めは、椋鳩十さんは動物が好きだから、動物のかしこさを書いていると思っていたけど、2つの作品を読んだり、〇〇さんの発表を聴いて、「仲間や家族を助けるために、自分の命をかける勇氣ある生き方」「勇氣ある姿や愛情深い姿に感動し、考えを変えた人間のよさ」を伝えたいと思ったと考えを深めました。また、他の作品には、どんな生き方が書かれているのか、読んでいきたいです。</p> </div> <p>4 次時の学習を知る。</p>		<p>・ポートフォリオを見ながら、自分の考えの変容を書いたり新たな考えを書いたりしている。</p>	<p>・ポートフォリオを見ながら、自分の考えの変容を書いている。</p>	<p>ポートフォリオ</p> <p>自己評価カード</p>